

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

討議年月日: 令和2年2月27日

公表: 令和2年3月1日

事業所名: チャイルドハート東海あさひ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	4	利用が多い日は公園等の外出を増やしている	児童が多い日は活動スペースの確保 遊びによっては使っていない物もあるので確保のために片づける。
	2	職員の配置数は適切である	2	3	支援度が高い児童はマンツーマン支援にする	人為基準は満たしているものの人員確保の為に求人強化を行い、支援をあつくる
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2	フロア全体としては段差はない	トイレ等に手すりは今後検討中
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	3	毎日直接課題にしたラインで問題があれば対策を伝え合っている	今後はパートの方にも意見を下す
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	アンケート後には課題意を共有して対策を講じる	以前のアンケート結果での最善の対応は行っているので継続をしていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	HP公開済み	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3	現状特に対応ができていない	現状ではそのようなことを依頼できていない。また依頼先などを探すところから始める
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	月に1回研修を行っている	パートの方も希望者は参加をしているので継続する
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	職員間で話し合い作成したサービス計画表は職員全員で共有する為に会社内で確認	送迎時に保護者の方から伺ったお話を事務所やLINEで共有をし計画に反映を継続していく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0	アセスメントシートに新たな情報を書き込んでいる	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	スタッフ全員に立案したものを共有し意見支援できるようにしている	継続して意見のでの環境を整える
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	マンネリ化しないようにあらゆる情報を入手するようにしている	時には利用者の方々からも意見を頂く
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1	平日は学校の宿題及び児童に応じたプリントを用意またはカードでの支援	そういった時間の確保が難しいこともあるので確保に努める
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1	土曜、祝日のイベントでは個々が関わえる行事を実施している	社会生活(集団活動)に必要な活動を計画にれていく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	予想される動きについて役割をもって行っている	支援前に予測されることは事前に話し合い、前日までに引き継ぎをおこな
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	勤務後今共有できなかったものについてはLINE等で共有	直接の時間確保が難しいことがあるのでそこについては改善を行う
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	個人記録、日報においての記録しそれを読むようにしている	日々の記録で気になったことは共有して今後につなげる
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	モニタリングの内容を職員、パートスタッフで共有し意見を考えるようにしている	相談支援員さんとのモニタリングでもご家庭利用児の様子を共有した上で計画改善にも努める
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	イベントで地域との交流を図るなど計画したりしている	保護者との漫談や話を聞く機会を作っているため継続していく	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	児童発達管理責任者が参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	常に学校の先生と連携を取り合い何かあった際は電話にて報告をできる関係を作っている	学校行事おたより、ご家庭からの連絡で下校時刻不一致の場合前もって職員から学校への確認
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2	児発管が保護者と一緒に診断に同行させてもらい注意することなどを聞いている	継続して行っていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	新一年生で利用した子供については聞き取りを行い情報を共有している	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	2		まだ利用児童の年齢が低く実例がないものの情報を収集しておく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0	利用児童の相談員さんがセンター長ということもあり助言を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	児童館にてイベントとして活動を行っている	十分ではないのそういった活動を増やしていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1	児童発達管理責任者が参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	送りの際に伝え合うとともに電話で常に情報を共有している	引き続き継続していく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1	月一回意見交換相談会などに参加に声かけしている	ママカフェを通じて情報を配信しているので継続していく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時に説明を行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	定期的に児発管が声かけをして悩みを聞くようにしている	保護者から質問があった際には職員間でも共有している
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	0	ママカフェに参加される方々は声かけあう関係が構築できている	ママカフェを通じて保護者同士で話し合える時間を設けているので継続していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	苦情があった場合は児発管が聞くことを契約時に伝えている	職員間で共有し適切な対応ができるような環境にしている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	おたよりを毎月配信	お便りにてイベントや活動内容を伝えている
	35	個人情報に十分注意している	4	0	契約時に個人情報に関してお伝えしている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	研修等で得た情報をお便りに載せている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3		考えているがまだ実施できていないので今後計画を行う

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1		防犯マニュアルの再構築を行う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	訓練等を行う機会が確保できている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	研修から虐待について学ぶと同時に職員間で意見交換を行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1	必要な児童に関してはご父兄に身体拘束承諾書をいただいている	職員間では十分な意見交換が未熟なので時間の確保を行う
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	食物アレルギーの有無は確認を取っている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	対応したスタッフが随時記載している	ヒヤリハットを元に事故の防止に努める